

第1章 総合振興計画の策定にあたって

1. 計画の目的

本町は、平成 20 年 3 月に策定した「南部町総合振興計画」に基づき、「名久井岳と馬淵川に抱かれ 自然・環境・福祉に恵まれた交流のまち」を将来像に、「保健・医療・福祉プロジェクト」、「達者村プロジェクト」、「協働・参画プロジェクト」の 3 つの重点プロジェクトと分野別施策によるまちづくりに取り組んできました。平成 29 年に実施した町民アンケートによると、本町に対する愛着や定住意向は向上し、「医療体制」や「保健サービスや施設整備」、「自然環境の豊かさ」に関する満足度と重要度はともに高い結果となりました。

一方で、本町を取り巻く環境は、人口減少の進行や地域経済の低迷、地域コミュニティの維持・存続など複雑化する課題に直面しています。また、誰もが健康でいきいきと長寿を満喫するための取組も重要です。

こうした中で、平成 28 年には「南部町人口ビジョン」および「南部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、社会減の抑制や出生数の増加に向けて重点的なプロジェクトに取り組んでいるところです。

平成 29 年度に「南部町総合振興計画」が計画期間の最終年度を迎えることから、新たな 10 年先に向けたまちづくりの基本理念やまちの将来像を定め、町民・地域と行政が知恵と力を結集してその実現を期すため、戦略的なまちづくりの方向性などの指針を明らかにした「第 2 次南部町総合振興計画」を策定するものです。



2. 計画の位置づけと役割

(1) 計画の位置づけ

本計画は、町民の意向を尊重しつつ、国および県などの計画を踏まえ、本町の望ましい方向性を定めるものであり、まちづくりの最上位計画に位置づけられるものです。

(2) 計画の役割

① 町民全体のまちづくりの共通目標

すべての町民が「まちづくりの主役」となり、町民一人ひとりがその知恵と能力を活かしながら、主体的にまちづくりに参画していくための共通目標となるものです。

② 総合的・計画的な町政運営の基本方針

まちの将来像の実現に向けた施策や事業を総合的かつ計画的に推進するための町政運営の基本指針となるものです。

③ 国、県および広域圏に対するまちづくりの意思表示

国や県などの計画と整合性や関連性を考慮して本町の設定するとともに、広域圏および周辺市町村との相互理解・連携を深め、まちづくりの目標達成のため連携を強化するものです。

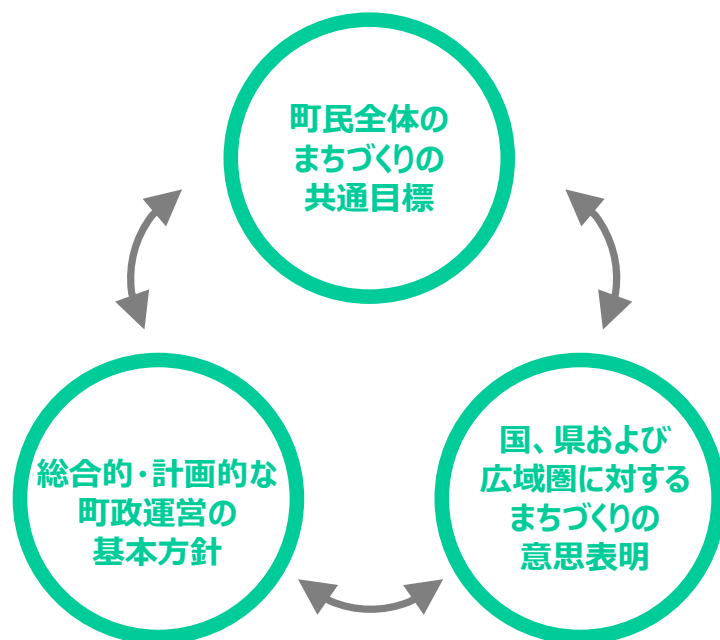


図 1 計画の役割

3. 計画の構成と期間

(1) 計画の構成

本計画は、「基本構想」、「基本計画」および「実施計画」で構成します。

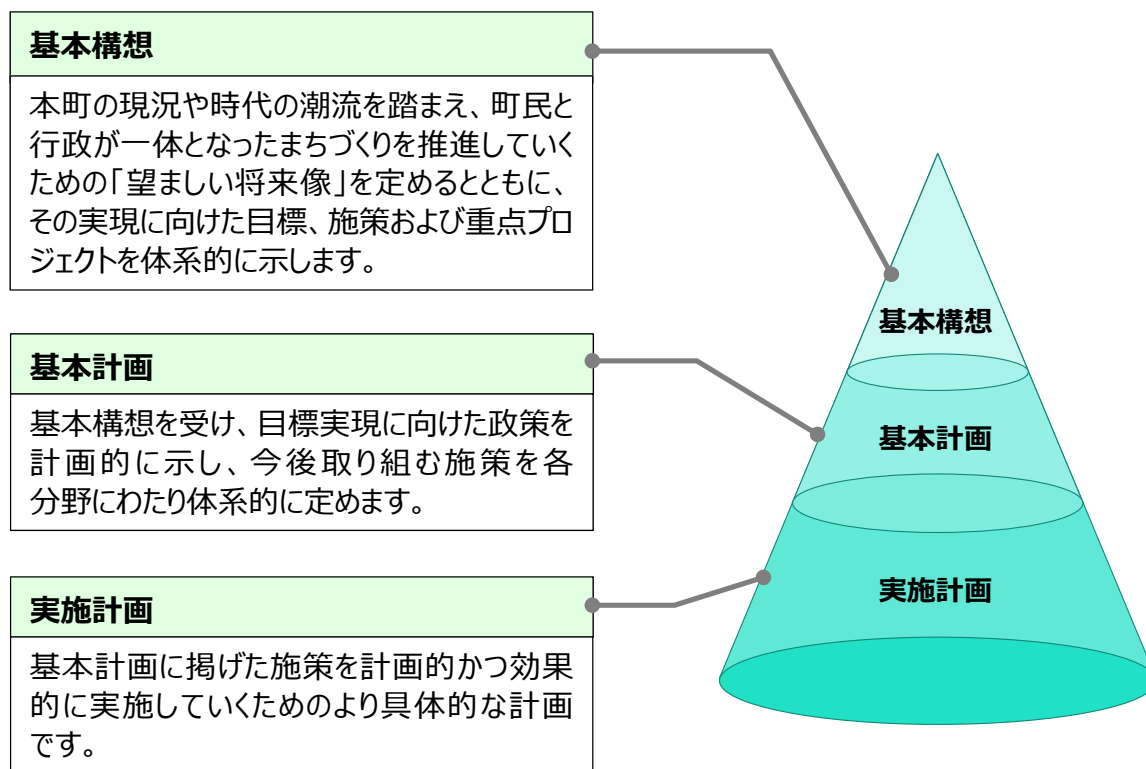


図 2 計画の構成



(2) 計画の期間

基本構想の期間は、平成 30 年度（2018 年 4 月）から平成 39 年度（2028 年 3 月）までの 10 年間とします。

基本計画の期間は、平成 30 年度（2018 年 4 月）から平成 34 年度（2023 年 3 月）までの 5 年間を前期基本計画として定め、平成 35 年度（2023 年 4 月）から平成 39 年度（2028 年 3 月）までの 5 年間を後期基本計画とします。

実施計画の期間は 3 年間として、毎年度の P D C A サイクル[※]により事務事業の見直しを行いながらマネジメントします。

平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成36年度 (2024年度)	平成37年度 (2025年度)	平成38年度 (2026年度)	平成39年度 (2027年度)
基本構想（計画期間：10年間）									
前期基本計画（5年間）					後期基本計画（5年間）				
実施計画(3年間)									
	実施計画(3年間)								
		実施計画(3年間)							
			実施計画(3年間)						
				実施計画(3年間)					
					実施計画(3年間)				
						実施計画(3年間)			
							実施計画(3年間)		
								実施計画(2年間)	
									実施計画 (1年間)

図 3 計画の期間

※ P D C A サイクル：管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するシステム。

4. 進行管理

本計画を着実に推進していくために、P D C Aサイクルによるマネジメントを運用し、適切な進行管理を実施します。また、社会情勢の変化や多様なニーズへ柔軟に対応することで、最大限の効果が発揮されるように努めます。

